

日本記者クラブ会報

公益社団法人 日本記者クラブ 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル TEL.03-3503-2722 <https://www.jnpc.or.jp/>



反乱・撤収

ロシア南部ロストフナドヌーで、南部軍管区司令部からの撤退を準備する民間軍事会社ワグネルの戦闘員=6月24日、AFP=時事

開かれなかった記者会見 突き付けられた重い問い

会場に300人以上詰めかけた日本記者クラブの記者会見が、2018年度には四つもあった。当時はテレビで見ると身だったが、その中でも危険なタックルが問題になった日大アメフト選手の記者会見は強く印象に残っている。未成年の、いわば加害者が記者会見に臨むという前例のない申し入れを、クラブは正面から受け止め、開催を即断した。一方の当事者のみの主張を取り上げ、開催を断る傾向に、風穴を開けたともいえるかもしれない。

話をいまに移し、開かれなかった記者会見のことを書かなければならない。ジャーニズ事務所の創業者の性加害を訴える記者会見は、日本記者クラブに持ち込まれることはなかった。それどころか、日本外国特派員協会が開かれるまで、開催を呼びかけることに思い至ることも、私はなかった。

その後、企画委員会での提案から、この問題についてのシリーズ記者会見を6月に4本組んだ。報道の現場からの報告も今号に掲載されている。日本のメディアの多くは、自らを問いなおすことを強いられる。日本のメディアがつくる日本記者クラブもまた、来し方を自ら問うことを余儀なくされた。

考えなくてはならないのは「もし」ということだ。もし、日本記者クラブに最初、記者会見が持ち掛けられていたら、危険なタックルの時のようにきちんと受け止められたか、どうか。年間170以上の記者会見を開いていて、いまさら気づかされる。その判断の難しさに。

(専務理事 江木慎吾)

ネクタイとボールペン ゲストへの記念品、どうする

日本記者クラブは、記者会見に招いたゲストに記念品を贈っている。以前は記者会見の最後に司会から渡してもらっていた。コロナ下になっても、もっぱら会見の前に控室で渡すようになった。贈呈の場面が目目触れることは少なくなったが、小さな儀式はずっと続いている。

記念品にはいま、ネクタイとボールペンがある。男性ゲストにはどちらも贈ることができる。女性のゲストにはボールペン、ということになる。この不平等な状態が続いていることが果たしていいのか。過去にはほかに女性用の記念品を用意したことがあったが、長続きはしなかった。記念品の在庫が少なくなってきたことをきっかけに、いま事務局内で議論しているところだ。

ジェンダーに絡む記者会見を多く開いている昨今、性別にかかわらず贈ることができる、メディアの組織らしい記念品があれば一番いいと思う。そんな素敵な記念品があれば、だが、それに、実はネクタイにまつわる思いは少なくなく、会報のネ

タにもなってきた。

贈ったその場でネクタイを替えて記者会見に臨んでくれたゲストがいた。前回の登壇時に贈ったネクタイを締めてきてくれたゲストも。何度も登壇しているの、ネクタイの全種類を持っていると考え、ペンにしたところ「ネクタイがよかった」と言われたこともあった。ある大使館のレセプションで、何度か登壇している大使が「このクラブにゲストで行くと、ネクタイをくれるんだよ。コレクションができるぞ」と、別の大使を紹介してくれたことがあった。

色々と思悩むことの多い事務局にあつて、この悩みはちよびり楽しくもある。さて、どうする事務局。

会見や試写会、6月に19件 ジャニーズ問題をテーマに

6月は19件のイベントがあつた。明確な基準はないものの、15を超えれば、事務局はかなり忙しくなる。参加する方も大変だろう。シリーズ会見が多かつたのも特徴で、五つの

シリーズが同時並行に進んだ。機を逃してはならないシリーズはあるし、ゲストの都合でどうしても動かせない日程もあるが、企画する側、参加する側双方に無理のない記者会見を組めるようにしていきたい。

そのシリーズでは新たに「ジャニーズ問題から考える」の記者会見を4本組んだ。企画から司会まで朝日新聞論説委員の田玉恵美さんが務めた。日本のメディアのありようが問われた問題だけに、記者の関心は高かつた。ユーチューブの会見映像の視聴回数からみて、一般の関心も高いシリーズになった。

多くの記者が集まつたのは、6月13日、カンヌ映画祭で最優秀男優賞を受賞した役所広司さんと、「パーフェクト・デイズ」で共演した田中泯さんの記者会見だつた。今年度に入つてもっとも多い121人が会場に詰め掛けた。役所さんと田中さんが、示し合わせたわけではないだろうが、絶妙に役割を演じ分けたように見えた。

驚いたのは役所さんの揮毫を見たとき。瞬間、昨年の仲代達矢さんの揮毫が頭に浮かんだ。師弟は同じ文字「平和」を記した。ただ一つ違ったのは、仲代さんが「平和」と書いたことだ。

目次

▼クラブゲスト	34
青山侑 元東京都副知事 / 「マンション」政策の行方 / 鎌野邦樹 早稲田大学大学院教授 / 北原糸子 立命館大学客員研究員 / 櫻井彩乃 任意団体GENCOURAGE代表 / セルヒョ・プロヒ ハーバード大学ウクライナ研究所所長 / 松谷創一郎 ジャーナリスト / 大石裕 慶應義塾大学名誉教授 / 河原理子 東京大学大学院特任教授、元朝日新聞記者 / 「Jリーグ30年」中堅クラブの挑戦	
▼会見リポート	48
前沢賢 ファイターズスポーツ&エンターテインメント取締役事業統轄本部長、三谷仁志 同取締役事業統轄本部長 / 岩井克人 東京大学名誉教授 / 柳沢正和 ゴールドマン・サックス証券プライム・サービス部長 / ポール・ヨンスン スウェーデン国防相 / 稲田朋美 衆議院議員 / 役所広司 俳優、カンヌ国際映画祭最優秀男優賞受賞、田中泯 ガンサー / 喜田村洋 一 弁護士 / 田中正之 国立西洋美術館館長 / 内藤正典 同志社大学大学院教授	
▼ワーキングプレス	911
名人最年少記録 藤井聡太棋士 毎日新聞社 / 丸山進 ジャニーズ性被害訴える会見 日本テレビ放送網 / 下川美奈 G7広島サミット 中国新聞社 / 城戸収	
▼新・列島報告	佐賀県 12
吉野ヶ里遺跡から有力者の石棺墓 佐賀新聞社 / 大田浩司	
▼リレーエッセー	13
斎藤勤さん 元内閣官房副長官 共同通信社 / 五十嵐泰	
▼書いた話書かなかつた話	14
「怪物」江川、球宴降板の真相 宮内正英	
▼MAYBOOKMAYPR	16
▼第26期委員会名簿	17
▼記者ゼミ	18
▼写真回顧	20

あおやま やすし
青山 侑さん 元東京都副知事



「後藤新平の復興計画が現代の東京の都市構造を決めた。中心部混雑を緩和した環状道路計画は卓越した発想」計画では住宅地の道路幅は全て6mだったが、予算削減で実現できなかった。首都直下型地震で火災が発生したら消火活動が困難な密集地域が今もある」

■ 6・2 / 出席：会23人、オ59人 / 「関東大震災100年」②後藤新平の復興計画と政治・行政の役割 / 司会：橋本五郎委員

マンション政策の行方

かまの くにき
鎌野 邦樹さん 早稲田大学大学院教授 (左)

いがらし たかよし
五十嵐 敬喜さん 法政大学名誉教授 (中央)

やまもと りけん
山本 理顕さん 建築家、東京芸術大学客員教授 (右)



「マンションは建物の老朽化と住民の高齢化という二つの老いを迎えている。放置される管理不全のマンションが増えるだろう。建て替えは費用負担も大きく困難。最終的には住民同士の話し合いで売却するしかない。区分所有法などの法改正も必要」(鎌野さん)

■ 6・5 / 出席：会24人、オ46人 / 司会：小林伸年委員

きたはら いとこ
北原 糸子さん 立命館大学客員研究員



災害社会史が専門。東京都慰霊堂に保管されている関東大震災の死者5万4700人の名前などが記載された「震災死者調査票」の一部を10年前に調査。現在は非公開という。「データは社会の共有財産とすべきだ。100年前の大震災経験の教訓が生かされない」

■ 6・7 / 出席：会25人、オ47人 / 「関東大震災100年」③生存者と死者の調査について / 司会：黒沢大陸委員

さくらい あやの
櫻井 彩乃さん 任意団体GENCOURAGE (ジェンカレッジ) 代表



櫻井さんが集めた若者の声が一番多かったのが、選択的夫婦別姓を求める声だったという。「日本に対する絶望が広がっている。多様な価値観を尊重し選択肢を増やすことが重要。若者が未来を描ける環境づくり、安心して暮らせる社会づくりが不可欠」と強調した。

■ 6・9 / 出席：会20人、オ35人 / 「人口減少 80万人割れの衝撃」⑥ / 司会：小林伸年委員

今月のゲストの皆さん

ゲスト全員の会見レポートは右のQRコードを開きウェブサイトで読めます。出席欄の「会」は会場、「オ」はオンラインの参加人数です。



セルヒー プロヒ
Serhii Plokhlyさん 米ハーバード大学ウクライナ研究所 所長



ウクライナ史研究の第一人者。「侵略の正当化のために歴史を引用するロシアの政治家はいたが、最も顕著な例がプーチン大統領だ」停戦の時期や条件はわからない。永続的な和平実現のためには暫定的な解決策ではなく、ロシアの明確な敗北がなければ今の戦争は終わらない」

■ 6・12 / 出席：会30人、オ50人 / 司会：出川展恒委員 / 通訳：大野理恵さん

まつたに そういちろう
松谷 創一郎さん ジャーナリスト



「日本では制作会社機能を持つ芸能事務所とタレントの契約は対等ではない。いびつな構造が性暴力の要因に」ジャニーズ事務所は所属タレントが男性のみ、事業者団体には非加盟。最大手だが異端の存在。メディアコントロールがあったから性暴力が報じられなかった」

■ 6・15 / 出席：会22人、オ55人 / 「ジャニーズ問題から考える」②芸能界の構造問題 / 司会：田玉恵美会員

おおishi 裕か
大石 裕さん 慶應義塾大学名誉教授、十文字学園女子大学 特別招聘教授、東海大学特任教授



BPO放送倫理検証委員会の委員を務める。放送法4条の解釈を巡り「選挙報道とそれ以外の報道は区別すべきだ。選挙報道は有権者の判断材料になるため、量的公平に十分な配慮を」。一方、戦争報道を例に「ジャーナリズム論からすれば偏向報道は不可避」と話した。

■ 6・20 / 出席：会15人、オ46人 / 「放送法文書をどう読むか」③ジャーナリズム論の視点から放送法第4条を考える / 司会：田玉恵美会員

かわはら みちこ
河原 理子さん 東京大学大学院特任教授、元朝日新聞記者



90年代後半、性暴力被害者の連載を担当。「当時は性的な記事の掲載には壁があった。被害を伏せることが被害者にとって一番大事だとされ、被害の深刻さを伝える記事は少なかった」「どういう言葉で被害を伝えるかは悩みながら模索するしかない」

■ 6・22 / 出席：会16人、オ50人 / 「ジャニーズ問題から考える」③性暴力報道の行方 / 司会：田玉恵美会員

「世界がまだ見ぬボールパーク」の夢は、プロ野球北海道日本ハムファイターズの新本拠地・エスコンフィールド北海道が3月に開業したことで、大きな節目を迎えた。2015年からプロジェクトを牽引してきた前沢本部長(写真左)と三谷副本部長(右)はしかし、1時間の会見

前沢 賢

ファイターズスポーツ&エンターテインメント取締役事業統轄本部長

5月29日

三谷 仁志

同取締役事業統轄副本部長

5月29日

「まちづくり」への参画を呼びかけた。ボールパークFビレッジに誘致を進める施設について、前沢氏は「このエリアに必要なのは学校、オフィス、病院」と、野球場周辺施設のイメージを覆す内容を列挙した。三谷氏は試合の敷時間を目当てに訪れる観客動員数ではな



で、大事業を成し遂げた達成感よりも、新球場を核に、一帯を行楽地や街に、そして、さらにその先の見通しを軸に語り、「まちづくり」への参画を呼びかけた。ボールパークFビ

く、「訪れた」人口に時間を掛け合わせた総和をどう増やしていけるかがキーポイント」とし、「長い時間いらつしやる方や、そこに住む方を増やしていけば、まちづくりにつながる」と道筋を示す。この日公表した、開業から約2カ月の各種データについても報告があった。Fビレッジに訪れた90万人のうち、約4割が野球観戦以外を目的としており、それとは別に、全体の約2割が北海道外から来ているという。ボールパークの行楽地化を示す内容だ。来場者の不満をアンケートやツイッターなどで受け止め、すぐ

に対応する「高速PDCA」について語る姿は、ついに自前の球場を持つことができた喜びにあふれているように見えた。ゲストブックは、前沢氏が「突破力」、三谷氏が「共同創造によるまちづくり」と揮毫。突破力を発揮し難事業を形にした前沢氏が「今後重要なのは突破力ではなく、いかに共生しながら独自力を出していくか」と話したのが印象的だった。「完成度は40%弱」というボールパークの行く先を見届けた。北海道新聞社東京支社報道センター

安房 翼

Jリーグ中堅クラブの挑戦

海野 一幸さん ヴァンフォーレ甲府元社長(左)
木村 正明さん ファジアーノ岡山オーナー(中央)
眞壁 潔さん 湘南ベルマーレ代表取締役会長(右)



地方のクラブ経営の現状と課題を、かじ取りをしてきた三氏が語った。このうちヴァンフォーレ甲府は地域貢献活動をする事でスポンサーを獲得しクラブを立て直した。「価値を生み出すのは選手。その獲得・育成にはお金が必要」(木村さん)とスポンサー支援の重要性を強調した。

6・23/出席:会17人、オ24人/Jリーグ30年/司会:名取広紀監事

6・23/出席:会17人、オ24人/Jリーグ30年/司会:名取広紀監事

*下記のゲストの会見レポートは4~8ページに掲載しています

前沢 賢さん ファイターズスポーツ&エンターテインメント取締役事業統轄本部長
三谷 仁志さん 同取締役事業統轄副本部長

5・29/出席:会19人、オ46人/「エスコンフィールドが描くボールパークの未来」/司会:森田景史委員

岩井 克人さん 東京大学名誉教授

5・30/出席:会70人、オ52人/総会記念講演会/司会:前田浩智理事長

柳沢 正和さん ゴールドマン・サックス証券プライム・サービス部長

6・6/出席:会10人、オ25人/「多様性社会への課題」⑤ LGBTにとって働きやすい企業とは/司会:伊藤雅之委員

Pal Jonsonさん スウェーデン国防相

6・6/出席:会29人、オ38人/司会:杉田弘毅委員/通訳:長井鞠子さん

稲田 朋美さん 衆議院議員

6・12/出席:会40人、オ39人/「多様性社会への課題」⑥/司会:佐藤千矢子委員

役所 広司さん 俳優、カンヌ国際映画祭最優秀男優賞受賞
田中 涙さん ダンサー

6・13/出席:会121人、オ45人/司会:中村正子委員

喜田村 洋一さん 弁護士(ミネルパ法律事務所)

6・14/出席:会43人、オ77人/「ジェニーズ問題から考える」①メディアはなぜ放置したのか/司会:田玉恵美会員

田中 正之さん 国立西洋美術館館長

6・16/出席:会84人、オ19人/試写会「わたしたちの国立西洋美術館」/司会:中村正子委員

内藤 正典さん 同志社大学大学院教授

6・19/出席:会20人、オ37人/「大統領選後のトルコ内政と外交」/司会:出川展恒委員



2020年の総会記念講演会に登壇の予定だったが、新型コロナの感染拡大で中止に。コロナ禍を経た世界に、株主中心の資本主義への懐疑と、SDGsやESGの考え方を取り込んだステークホルダー資本主義を模索する試みが広がる中、3年越しで実現した講演となった。

「会社の唯一の社会的責任は利潤を増大させること」会社は株主の利潤追求の道具ではない」

半世紀以上にそう説いて株主資本主義を擁護した米経済学者のミルトン・フリードマンは、個人企業と会社を混同する理論的誤りを犯し、資本主義の中心をなす会社の本質を理解していなかったと喝破。「フリードマンの自由放任主義思想や株主

総会記念講演会
「資本主義はどこに向かうのか？」
岩井 克人 東京大学名誉教授
5月30日
会社の多様性 今こそ必要

主権論は資本主義が生き延びるための最大の敵である」と言い切った。会社は法律上ヒトとして扱われる「法人」であるが故に、2階建て構造をしていると指摘。個人企業と違い、ヒトとして会社の資産を所有する1階部分と、モノとして株主に所有される2階部分を兼ね備えた存在だからこそ、会社は株主の利益を追求するだけでなく、従業員や顧客、サプライヤー、地域社会、自然環境といったステークホルダーに貢献する活動もできる存在、本質的に多様に富む存在なのだと解説した。

米国型資本主義が国際標準となった世界では、格差の拡大や分断、ブロック経済化が進む。「資本主義は最悪のシステムだ。これまで存在した全てのシステムを除けば。これが私の立場」と語り、「ポンコツの資本主義」を生き延びさせるには、会社の多様性の発揮が必要と説いた。

日本の役割にも言及し、民主主義や法の支配、経済的自由が西欧に特殊な理念でなく、普遍的な理念だと示す歴史的使命があると述べた。

翻って、岸田政権の「新しい資本主義」はなかなか像を結ばず、株価がさえない日本企業は自社株買いに走っている。その現状が歯がゆい。

朝日新聞社経済部 木村 裕明

「多様性社会への課題」⑤
柳沢 正和
ゴールドマン・サックス証券プライム・サービス部長
6月6日
LGBT包摂は死活問題



柳沢氏は2008年にゲイを自覚。会社でカミングアウトした。当時の会社で初めて管理職となり、自分らしさを明確にしないと勤めを果たすのが難しいと気づいたからだ。

LGBTの人は十分なサポートがない場合、「穴に落ちたような恐怖感」を抱くことがあるという。例えば、イスラム教国への転勤を命じられた場合……。日本人と外国人が海外で同性婚をしても、日本では外国人配偶者にビザが出ない。結果、会社を辞めざるを得ないことがある。

「非常にもつたいない。企業にとって死活問題ではないか」と柳沢氏は強調。「人材確保」企業の社会的責任「国際競争力強化」の観点から、日本企業にLGBTへの対応を

見える形で取り組むことを求めた。「法律がなくても企業にできることはある」と。

ゴールドマン・サックスでは19年、従業員がピンクの服を着てLGBT支援を見える化する「ピンク・フライデー」を開始。アジアでも100社以上に広がっているようだ。

CEOは同性婚支持を表明するなどLGBTの人権に取り組む姿勢を明確にした。これは、人事や研修など社内制度の改革に結び付く。様々なガイドラインを作成。LGBTの人の登録の機会を設け、情報提供や福利厚生に役立てる。「He, She, They」、自分をどう呼んでほしいか選べるようにした。LGBTの学生向けのイベントも開催。

「人権意識が今以上、企業に求められている時はない。人権に取り組めば結果的に競争力に結び付くと考えるべきだ」と説いた。

翻って日本。差別禁止に踏み込まないLGBT理解増進法。「100歩手前」と厳しく評しつつも、「ないよりまし。少しずつ動いていくのがマイノリティーの歴史」と、同性婚など婚姻の自由実現に期待を寄せた。時代の変化に、「動かしたい」との強い意志を感じた会見だった。

毎日新聞出身 山田 道子



ボールド・ヨンソン
スウェーデン国防相
6月6日

中立手放す危機感と覚悟

人口わずか1千万、北欧の小国は約2世紀の間、軍事的な「中立」を保ってきた。欧州の戦争から身を守るための知恵とも呼べる伝統を、スウェーデンは捨てようとしている。隣国ロシアが敵視する北大西洋条約機構（NATO）への加盟申請だ。その背景と覚悟がうかがえる記者会見だった。

ヨンソン国防相は会見で「昨年2月のロシアによる不法で残虐なウクライナ侵攻による欧州安全保障環境の悪化」が加盟申請の決断を促したと強調、「ロシアが大きな政治的、軍事的リスクを冒す国であることが分かった」と語った。

淡々と話す
ヨンソン氏が
やや表情を厳
しくしたのは
は、ロシアの
対北欧戦略に
言及したとき
だった。「ロ
シアはスウェ
ーデンとフィ

ンランドを自分たちの影響圏に置く」と主張している」と指摘し、「到底受け入れられないことだ」と語気を強めた。

「受け入れられない」との言葉は2度繰り返し返された。隣に住む乱暴な巨人に対する、鋭い抵抗宣言でもある。

会見では触れなかったが、ロシアはウクライナのクリミア半島を一方的に併合して以降、長距離爆撃機を領空近くで飛行させるなど、軍事的な動きを活発化させてきた。首都ストックホルム沖のバルト海では、ロシアとみられる不審な潜水艦の活動が確認された。蓄積された危機感が、北欧の小国を、大きな決断に踏み切らせたと言えるだろう。

新型コロナウイルス感染症が広がる前は、国会議員として毎年日本を訪問してきたというヨンソン氏。「ロシアのウクライナ侵攻によって、北大西洋地域とインド太平洋が繋がった」と世界の安全保障環境が急激に変化しているとの認識を示した。その上で防衛やハイテク技術面など、日本と幅広い分野での関係強化へ期待感も示した。

共同通信社論説委員 半沢 隆実



「多様性社会への課題」⑥ 稲田 朋美 衆議院議員 理解増進法「大きな一歩」

6月12日

LGBTな
性的少数者
の理解増進法
が6月16日に
成立した。法
整備をめぐっ
ては、202
1年に超党派
議連が法案を

まとめていたが提出に至らなかったという経緯がある。今回は与野党から3つの案が出たが、最終的には与党案に日本維新の会と国民民主党の案を反映させるかたちとなった。会見はこの修正案が衆院本会議で可決される前日に開かれた。

稲田氏は自民党政調会長時代の16年、党内に「性的指向・性自認に関する特命委員会」を設置し、21年の超党派の合意案とりまとめにも携わっている。会見では与野党から出された3案やその後の修正案について「大きな違いを説明した上で「大きな違いはない」と強調した。2年前にもジェンダーアイデンティティーという言葉について議論があったとし、

配慮義務については「当たり前のこと。すべての国民の人権が大切にされる社会を作るために法律を作っているのだから、法案成立は大きな一歩になる」と話した。

稲田氏は夫婦の氏についてもファミリーネームは残しつつ、女性の不利益を解消するため公的に婚姻前の氏を使い続ける「婚前氏統称号制度」を提唱。性的少数者と夫婦の氏に関する自身の考えに対して「左翼」とレッテルを貼られていることに反論。「より良い社会にするために変えるべきところは変えていくという自分の姿勢は一貫しており、自分こそが保守だ」と主張した。

性的少数者への理解が進み、すべての人が暮らしやすい社会を実現することが法の原点にある。ただ当事者の間では「法律は理解を阻害する懸念がある」との声が上がっている。特に「すべての国民が安心して生活できること」という留意事項について「今後、全国の自治体や教育委員会に『安心できないから教育するな』といった要望書が上げられるかもしれない」と言う。国民の理解をどのように進めるか、政府が今後策定する基本計画などを注意深く見守っていく必要がある。

日本経済新聞社編集委員 中村 奈都子

役所広司さん

俳優、カンヌ国際映画祭最優秀男優賞受賞

田中 泯さん

ダンサー

6月13日

「夢のような仕事だった」



「やったことのない映画で、しかもやったことのない役。本当に夢のような仕事でした」。カンヌで日本人が男優賞を受賞するのは

是枝裕和監督の「誰も知らない」主演の柳楽優弥さん以来、19年ぶり。国内外で数々の賞に輝きながら、三大映画祭（カンヌ、ベルリン、ベネチア）での男優賞受賞は初となった役所さん（写真右）は、満面の笑みで喜びを語った。

初は短編の構想で、監督が独の巨匠、ヴィム・ヴェンダース氏に決まっても長編に変容。カンヌにまでたどりついた。

主人公は古びたアパートに一人で暮らす寡黙なトイレ清掃員・平山。「毎日、仕事をして大衆浴場に行き、軽くお酒を飲みながら食事をして、好きな文庫本を読み、幸せな気分で見りにつく」という男性で、「お金があれば何でも手に入る世の中ですが、とても美しい人間の生き方のように伝わるのでは」と思いを込めた。セリフのないホームレス役で出演した田中泯さん（左）も「役所さんと、ひよっとしたら同じものを見ているような瞬間もきつとあった。すてきな映画になった」としみじみと語った。

会見は時折、笑いも起こる和やかな雰囲気が進み、日本映画の今後にも話が及んだ。「映画はビジネスとして成功しなければいけないものですが、そればかり追いかけていては日本映画は痩せていく気がする」と危機感を示した役所さん。「監督の自由な発想で始まり、興行的に成功させなければいけないという制約もなかった今回の映画作りは、とてもいい例になると思う」と力を込めた。

読売新聞社文化部 松田 拓也

「ジャーニーズ問題から考える」①

喜田村 洋一 弁護士

6月14日

突き付けられた重い問い

ジャーニーズ喜多川氏による性暴力問題では、多くのメディアが長年沈黙してきたことに対して、大きな疑念が突き付けられている。

いわば当事者となっている日本記者クラブとしても多角的な検討を行い議論を深める必要があると考え、「ジャーニーズ問題から考える」シリーズを企画した。まず登壇をお願いしたのが、約20年前に週刊文春の代理人としてジャーニーズ事務所と裁判で対峙し、メディアの実情にも詳しい弁護士喜田村洋一さんだ。



物証のない密室での出来事を真実だと証明するために、文春の記者たちがどんな取材をしていたのか。その成果を喜田村さんらがどう評価して記事化にゴーサインを出したのか。疑惑を完全に否定していた喜多川氏から決定的な証言を引き

出すため、法廷でどんな尋問を重ねたのか。こうした当時の興味深い舞台裏が子細に語られた。

裁判に勝った喜田村さんは、これでジャーニーズのあり方について他のメディアが報道するだろうと思ったが、「どのマスコミも知らん顔」。週刊誌ネタだと過小評価した／芸能界の話で一般社会とは関係がないと思いつい込んだ／ハラスメント＝人権侵害という認識の欠如／被害者が男性（少年）だったことによる事案の軽視／他社も報じていないという横並び体質——などの認知バイアスが背景にあったのだろうと分析。ジャーニーズのタレントを起用している自社に不利益が及ぶことへの懸念もあったのではないかと指摘した。

メディアが報道すべきことを報じていく。それが積もり積もって歴史ができていく。その思いを「歴史への責任」との揮毫に込めた。「強い人がいつも勝つということであれば、弁護士も報道も要らない」と厳しく警鐘を鳴らした喜田村さんの会見動画には、1週間で7万超のアクセスがあった。異例の高い数字で、ジャーニーズ問題への関心の高さが改めて示された。これにどう応えていくのか、報道機関の側が問われている。

朝日新聞社論説委員 田玉 恵美

試写会
「わたしたちの国立西洋美術館」
田中正之 館長
国立西洋美術館
6月16日
美術館、生き残りへの挑戦



戦後、フランス政府から寄贈返還された「松方コレクション」を基礎に、所蔵品約6000点を有する東京・上野公園の国立西洋美術館。ル・コルビュジエ設計の建築として2016年に世界文化遺産に指定され、創建時の姿に近づける整備のため20年10月から1年半、休館していた。その間、館の内部にカメラを入れ、そこで働くスタッフらの多岐にわたる活動を追ったのが、ドキュメンタリー映画「わたしたちの国立西洋美術館 奇跡のコレクションの舞台裏」(大塚敦監督)だ。7月15日から全国順次公開されるのを前に、試写と同館の田中正之館長による会見が開かれた。

多くのの人にとって美術館とは、展覧会という接点しかないかもしれない。華やかな展示の裏には、所蔵品の調査研究や保存修復、教育普及など多くの地道な仕事があり、美を守り伝えることに情熱を傾ける職員らの姿がある。田中館長は会見で「映画を通して、美術館が何をしているのか、とにかく知ってほしい」と強調した。というのも、日本の国立美術館は今、岐路にあるからだ。

例えば海外から名品を集め、マスコミ各社が経費リスクを負う「共催展」は日本独自のモデルだが、輸送費や保険料の高騰などで、今後は減っていくとみられる。欧米に比べ、予算も人員も圧倒的に少ない日本の美術館。が、館長は「ピンチではなく、むしろ美術館や展覧会のあり方を変える絶好の機会」と説いた。

同館は、歴史的にゆかりのある川崎重工業とオフィシャルパートナーシップを結ぶとともに、ファンドレイジング強化へ体制づくりを進めているという。経営企画、広報渉外など学芸課以外の部署も拡充。自己収入を増やし、自ら企画展を開くことで、美術館を持続可能なものにしたという。「わたしたち」の美術品を守り伝える美術館の奮闘を、「わたしたち」はどう支えるのか。大いに考えさせられた。

産経新聞社文化部 黒沢 綾子

「大統領選後のトルコ」内政と外交
内藤 正典 同志社大学 大学院教授
6月19日
外交姿勢あくまで実利



中東においても、ウクライナ戦争においても、様々な紛争の解決や地域の安定に重要なカギを握る国、トルコ。今年10月には、建国100周年を迎える。この地域大国の地政学的な深淵を知る上で、実に幅広い知見を提供していただいた。

今年5月の大統領選挙では接戦の末、現職のエルドアン大統領の続投が決まった。彼の実像を知ると、トルコの「国のかたち」が見えてくる。日本の報道では、イスラム色の濃い保守派の印象が強いが、少数派であるクルド人の人権や言論の自由の拡大を図ってきたのは、ほかならぬエルドアン大統領だった。欧州連合(EU)加盟を意欲したものだが、死刑制度も2004年に廃止した。

与党の公正発展党はイスラム主義を掲げても、シャリーア導入までは考えず、世俗主義を堅持する。ケマル・アタテュルク初代大統領が提唱し、憲法で定める原則だ。イスラムと世俗主義の間の微妙ななじ取りは、「世俗主義の牙城」と呼ばれる司法当局や軍部との綱引きを繰り返してきたトルコ政治の知恵なのだろう。

その一方、外交姿勢もバランス感がある。ウクライナ戦争では「中立」ではなく、国連でのロシア非難決議では一貫して賛成してきた。自国憲法で「領土・国民は不可分の一体」を唱い、ロシアのウクライナ侵略は認めない。ただし、米欧主導のロシア制裁には同調しない。また、北大西洋条約機構(NATO)には加盟国の義務は果たすが、国益で妥協はしない。対米、対口、対EU、対中とも実利で対応するが、信頼していない。「2つの隣国が大喧嘩した場合、トルコはどちらの肩も持たない」と内藤教授。争いが終結後、両方との関係を継続させたいからだ。

エルドアン政権の新閣僚には、女性やクルド人を枢要な大臣に起用し、地震被災後の国土強靱化や貧困層支援を強化する構えだ。地域大国として、和平の仲介外交などに一層の存在感を発揮してほしいものだ。

朝日新聞出身 竹内 幸史

名人最年少記録 藤井聡太棋士 丸山 進(毎日新聞社会学部)

「かかつてきなさい」の構え 歴史的快挙あっさり

名人最年少記録、40年ぶり更新！
間違いなく歴史的な快挙なのだが、藤井聡太新名人はそれが既定路線であったかのようにあっさりと成し遂げてしまった。渡辺明名人は、虎の子の最後の1冠を死守しようとの手この手の策を繰り出したが、最後は粘る余裕も与えられなかった。

実はずっと綱渡り状態

順調にタイトル獲得数を積み重ねている藤井だが、最年少名人の偉業達成は綱渡りの状態だった。将棋のタイトル戦は、勝ち続けさえすれば新人棋士でも挑戦者になれるものがほとんどで、名人戦は唯一、挑戦者に最低5年かかるタイトルだ。五つある順位戦のクラスを一番下のC級2組からスタートし、年に1ランクしか昇級できない。名人挑戦権を争うのは、一番上のA級に所属する10人のみ。A級にたどり着くまでに最短で4年、そこで優勝して挑戦者となり、名人になるにはさらにもう1年かかる。藤井が14歳8カ月で順位

戦に初参戦した時点で、谷川浩司十世名人の最年少記録21歳2カ月を抜くには残り6年、つまり1年の足踏みしか許されていなかった。

デビューから29連勝して最多連勝記録を無敗のまま塗り替えた藤井だったが、順位戦2年目の2018年度、1敗したのが響いて昇級を逃し、1年しかない猶予期間をいきなり使ってしまった。その後の4年間は常に背水の陣。21年度のB級1組では2局目でいきなり敗れ、昇級を決めたのは最終局、12戦目だった。A級



第5局の勝利から一夜明け、山田温泉「藤井新荘」のちょうちんの横でポーズをとる藤井新名人(6月2日/長野県高山村/毎日新聞社提供)

入りを果たした22年度も2戦目で敗れ、いきなり雲行きが怪しくなる。その後は連勝して一旦は単独トップに立つも、最後には広瀬章人八段に追いつかれ、プレーオフにもつれ込んだ。藤井は、広瀬と竜王戦七番勝負で戦った時、先手番は3戦全勝したが、後手番で1勝2敗だった。プレーオフの振り駒に注目したが、藤井は分のいい先手番を引き当てて「持っている男」を感じさせ、対局を快勝した。

後手の最初は8四歩のみ

藤井はデビュー以来、後手番の時の最初の手(2手目)は8四歩しか指していない。先手番の時の初手は当初は7六歩か2六歩のどちらかだったが、ここ2年は2六歩と決めている。

プロの将棋は、序盤でいかに事前研究を生かせるかが勝負のポイント。羽生善治九段は居飛車も振り飛車も自在に指す変幻自在の棋士で、同世代のライバルを「事前予想がほとんど当たらない」と悩ませてきた。藤井のように指す手を固定していると、相手は作戦を立てやすくて有利だが、藤井は気にする様子もない。「どの戦法でもかかってきなさい」という王者の態度は、控えめな外見とは正反対だ。

名人戦で対戦した渡辺と藤井は、実に対照的だった。渡辺は、対戦相手によって綿密な作戦を立てる策略家。対する藤井は「対戦相手に合わせた事前研究はしません」という。準備をして意表を突かれた時に困るぐらいなら、日ごろから幅広い作戦を研究していた方が柔軟に対応できる、という。ここにも、どんな戦法も打ち破ってみせるといふ自信が表れている。

その名人戦では渡辺が藤井の得意な角換わりを避けた作戦を取り、話題になった。直前に両者が戦った棋王戦五番勝負では、4局全てが角換わりの戦いだった。その時に1勝3敗で敗れたことから、名人戦では渡辺が戦法を変えたことは容易に想像できる。将棋界の第一人者の渡辺がそこまでしても結局、藤井の進撃は止められなかった。

20歳10カ月で「名人」の称号を手に入れ、いよいよ注目点は八つあるタイトルの完全制覇だ。残る1冠の挑戦権を射止めれば、9月からいよいよ歴史的なタイトル戦が始まる。8冠を止める棋士は現れるか。そして、藤井から最初にタイトルを奪う棋士は、注目の種は尽きない。

まるやま・すずむ▼1997年入社 静岡岡支局 中部報道センター 経済部などを経て、2014年から学芸部で放送 囲碁・将棋などを担当

ジャニーズ性被害訴える会見

下川 美奈 (日本テレビ放送網
報道局社会部長)

性被害報道の原則徹する

コメント得て一報2日後

「ジャニー喜多川氏による性加害」報道で、日本テレビは2点を強く意識してきた。①「性被害・性加害」の取材・報道の原理原則に基づき、ふれずに判断する。②「被害者」に我々が何かを強要したり二次被害を負わせたりしてはならないし、現役ジャニーズタレントへの憶測や中傷にも配慮する、ということだった。

始まりは日本外国特派員協会から国際部にカウアン・オカモト氏の会見案内が届いた4月7日。「元ジャニーズJr.の会見を社会部が取材してほしい」という報道局長からの指示だった。3月に英BBCがジャニー氏の性加害問題のドキュメンタリーを放送し、波紋を広げていた中で「当事者」初会見だけに、私は「デリケートな問題なので司法クラブで取材します」と応じた。

真実性の担保が必要

4月12日、会見場に日本メディアの「ENGカメラ」は日本テレビほか2社。約1時間のカウアン氏の会見

後間もなく共同通信が内容を速報した。日本テレビはこの時点では報じなかった。誰かが性被害等を訴えた場合、真実性の担保のため、訴えの裏取りか、せめて相手側の反応込みで報じることが原理原則としているからだ。今回、ジャニー氏が故人で反証の機会が無いため、ジャニーズ事務所への対応はマストだった。ジャニーズ側に対応を求め続けたが応じられない中、数時間後、共同通信が事務所のコメントつきで再び報じた。

取材を進めると、テレビに報じられたくない思いからか、ジャニーズ側は当初、共同通信と一部の新聞のみコメントを出す「メディア選別」をする方針だったことも見えてきた。我々がようやくコメントを得たのは会見から丸2日たった14日夜だった。用意していた原稿にコメントを加え、即座に日テレNEWS24とWEBで報じた。原稿はカウアン氏本人の被害の主張に絞り、憶測を含む他のJr.への言及には触れないなど配慮した。「日テレもジャニーズに

その後、5月14日の藤島ジュリー景子社長の「謝罪動画」公開や6月12日の再発防止特別チーム会見、それに覚悟を持って被害を告白する元Jr.も相次ぎ、「潮目の変化」は一気に加速。日本テレビもその都度、慎重かつ大きく報じたが、メディア内外から「第三者委員会で全調査をしないのは不十分」「過去に報じなかったメディアが悪い」「ジャニーズタレントのキャスターがコメントしないのはおかしい」等の声も上がった。様々な意見や批判はあっていた。我々は指摘に真摯に耳を傾ける責任がある。一方で「被害者」の中には決して声を上げたくない人や、身近な被害を見て見ぬふりをしたことで心を病んだ人などもあり、傷や受け止め方は千差万別だった。



記者会見するカウアン・オカモトさん(4月12日/東京都千代田区/日本テレビ放送網提供)

「顔出し・実名で告発」との報道もあったが、報

理原則に基づいていた。その後、5月14日の藤島ジュリー景子社長の「謝罪動画」公開や6月12日の再発防止特別チーム会見、それに覚悟を持って被害を告白する元Jr.も相次ぎ、「潮目の変化」は一気に加速。日本テレビもその都度、慎重かつ大きく報じたが、メディア内外から「第三者委員会で全調査をしないのは不十分」「過去に報じなかったメディアが悪い」「ジャニーズタレントのキャスターがコメントしないのはおかしい」等の声も上がった。様々な意見や批判はあっていた。我々は指摘に真摯に耳を傾ける責任がある。一方で「被害者」の中には決して声を上げたくない人や、身近な被害を見て見ぬふりをしたことで心を病んだ人などもあり、傷や受け止め方は千差万別だった。

また、週刊文春側とジャニー氏との裁判当時の時代背景を考えると、「LGBTQ問題」#MeToo運動が「当たり前」になった現在とは違い、一般的に「性被害者＝女性」で「男性の被害者」という認識は希薄だったと思う。文春の記事自体も今では「差別語」でしかない文言が踊るもので、残念ながら当時、日本テレビを含む多くのメディアで、ニ

ユースとして扱う議論の俎上にも上らなかったと想像する。「被害者」が「あのとき報じてくれていたら」と思うのは当然だし、大変重い言葉だ。だが、メディア自身が「自分たちが報じていれば世の中を変えられた」とか「自分たちの手で時代の価値観を変えよう」とまで意気込むのは、傲慢で危険ではないか。

時代の半歩先見据え

改めて思うのは、メディアは時代の半歩先を見据え、正確かつ客観的な報道で進化の一翼を担う責任があるということだ。決して「性加害」を許してはならないし、今の時代に果たすべき役割を全うしなければならぬ。あくまでも謙虚な姿勢で。

しもかわ・みな▼1995年入社 警視庁クラブキャップ 社会部デスク ミヤネ屋 ニュースキャスター スッキリコメントーターなど経て 2022年6月より現職

G7広島サミット

城戸 収（中国新聞社社会担当部長）

市民には「遠いサミット」 「人間的悲慘」の報道貫く

G7広島サミットは成功だったのか。平静さを取り戻した平和記念公園を歩くと自問する。まだ評価できない。いや定めてはならない。時がたつほど、その思いを強めている。

人類史上、初めて核兵器の惨禍を経験した都市に核兵器保有国を含む首脳が集った。原爆で消された街があった平和記念公園に首脳らが立ち、原爆慰霊碑に花を手向けた。ロシアによるウクライナ侵攻により核の脅威が高まる中、ゼレンスキー大統領が電撃参加した。被爆地広島にとって歴史的な出来事だった。

希望と落胆入り交じる

核問題に関しては、希望と落胆が入り交じったサミットだった。その象徴が「広島ビジョン」であろう。核軍縮に特化した文書がサミットで初めて合意されたことは意義深い。しかし、内容は受け入れがたい。ビジョンは核なき世界を究極の目標とし、軍縮・不拡散で「現実的で、実

践的な、責任あるアプローチを探る」とした。核抑止力を認め、G7メンバーである米英仏の核保有を不問に付したのである。

カナダ在住の被爆者サーロー節子さん(91)は「大変な失敗」と断じた。広島市の被爆者団体も失望をあらわにした。当紙も朝刊1面の論評で「広島ビジョンと言えるのか」との見出しで批判的な主張を展開した。

ゼレンスキー氏の参加も複雑な思いで見守った。核なき世界への結束に加わったことは歓迎したい。一方で来日の主な目的はさらなる武器支援の取り付けだ。核兵器廃絶、恒久平和を訴え続けてきた広島で戦争の長期化を後押しする輪が広がる事態。正直に明かせば、どう評価すればいいのか戸惑った。

当紙の論調に読者や取材関係者からは賛否の声があった。否定的な声が多かった。「核兵器廃絶は理想論だ」「市民感覚とずれている」「せっかくのサミットに水を差すな」……

被爆地に拠点を置く新聞社の記者である私たちが「道しるべ」とする言葉がある。「原爆は威力として知られたか。人間的悲慘として知られたか」。原爆報道の礎を築いた当紙の元論説主幹・金井利博さん(1914〜74年)の問いかけである。私たちは今回、ぶれることなく「人間的悲慘」の側に立った報道を貫いたと自負している。

現場感、手触りなかった

ただ取材は振り回された。テロはもちろん、交通・物流の混乱といった事態にも備えねばならない。実際、首脳らの想定外の動きもあった。連日、100人態勢の人海戦術で臨んだ。ゼレンスキー氏の参加が分かった時には、出稿計画や記者配置の予

定が一気に崩れた。想定外は記者の妙味……。デスクや記者をそう励ましつつ、臨機応変な対応ほど難しいものはないと思ひ知らされた。

この1年間、サミット報道に膨大な力を投じた。終わってみれば、どこか物足りない。警戒態勢の中、現場感のない、手触りのない取材を余儀なくされたことが一因だろう。

原爆資料館の取材は、米国への配慮からかシャットアウトされた。首脳は、どんな資料を見て、何を感じたか。国家や核の論理から多くは語らなかつただろう。しかし、一人の人間としての表情は、核なき世界へ向けた雄弁なメッセージになったはずだ。被爆者、市民にとっても「遠いサミット」になってしまったことは残念でならない。

被爆地に集まった首脳が今後どう行動していくか。その検証の先に広島サミットの評価は定まる。被爆地を単なる政治イベントの「貸座敷」で終わらせないために、私たちは核兵器廃絶への具体策を問いつける。



原爆慰霊碑に向かう各国首脳たち(5月19日/広島市中区/中国新聞社提供)

きど・おさむ▼1996年入社
報道部 松江支局 東京支社
社会担当次長などを経て 22年
3月から現職

新・列島報告 佐賀県
吉野ケ里遺跡から有力者の石棺墓

弥生ロマンに脚光再び 途中経過発信の情報戦略

大田 浩司
(佐賀新聞社デジタル報道部・県政担当)

『魏志倭人伝』に記された邪馬台国時代のクニを思わせる大規模環濠濠落が吉野ケ里遺跡(神埼市郡)で発見されたと報じられて34年。佐賀県は2022年度から10年ぶりに発掘調査を再開した。遺跡中央付近にあり未発掘の「謎のエリア」で、ことし5月末、「邪馬台国時代とみられる石棺墓が見つかり、有力者が眠るかどうかが調べる」と発表、6月5日14日に内部の調査を実施した。被葬者の人骨や副葬品は出土しなかったものの、弥生時代後期(終末期)2世紀後半(3世紀中頃)の有力者の石棺墓が吉野ケ里で初めて見つかったと結論付けた。弥生のロマンは再

び脚光を浴び、9月に再開する調査で新たな発見があるか、考古学ファンの熱視線が注がれている。今回調査された石棺墓は、歴代の首長が眠る北墳丘墓の西側で見つかった。シャーマンとみられる女性らが葬られた弥生時代中期の甕棺墓列に連なる尾根の先端に位置し、見晴らしがよい丘に単独で埋葬されていた。日吉神社が移転した跡地で、未盗掘、未発掘で重要な遺物が残る「謎のエリア」と呼ばれている。残念ながら、中国との関わりを示す鉄刀、青銅鏡は見つからなかった。

有力者の実相に迫れるか

新たに確認されたのは、ひつぎ内が赤色顔料で塗られていたことに加え、石ぶたが100(キ)と巨大で「X」などの記号が刻まれていることなどだった。こうした発掘成果と立地を踏まえ総合的にみて、有力者の石棺墓だったと結論付けた。石棺墓は目張り粘土で密封されていたが、隙間から酸性土壌が大量に流れ込んでおり、人骨などの有機物は分解されたようだ。比較的残りやすいとされる歯や大腿骨すら見つからなかった。ひつぎ内から採集した土、赤色顔料を化学分析し、遺物の痕跡を調べる予定だ。

吉野ケ里では弥生時代後期の石棺

墓はわずか18基だけだった。今回初めて有力者の墓が1基見つかったことになる。邪馬台国時代は吉野ケ里で最も人口が増加した時期なのに、極端に墓が少ないことが長年の謎とされてきた。謎のエリアは4千平方メートルあり、22年度から調査を進めてきた。9月から残る4割の発掘を再開する。石棺墓周辺を掘り下げること、有力者の実相に迫れる可能性があるという。

今回、かつての「吉野ケ里フィーバー」をほうふつさせるほど報道陣が詰めかけ、発掘作業の状況が連日のように報じられた。その背景には佐賀県の情報戦略があった。調査終了後に結果を発表する従来の手法ではなく、5月末に発掘開始を告知し、発掘現場で進ちょくを細やかに説明



④石ぶたが外された石棺墓(下)を撮影する報道陣。約70人が詰めかけた⑤石棺墓の石ぶたには「X」などの線が刻まれている(6月5日/神埼市郡の吉野ケ里遺跡/いずれも佐賀新聞社提供)



した。調査経過を伝えるツイッターのアカウントのフォロワー数は告知前の約600から、6月16日時点で約3850と6倍に増えた。途中経過の「見える化」によって考古学ファンを含めた多くの人の関心を引きつけた。長年続く邪馬台国の所在地論争を決定づけるものが出るのだからいかという期待感もあったのだろう。

考古学ファンも「発掘」

こうした取り組みの背景には、国が文化財の保護だけでなく活用に関与するよう2019年に関連法を改正したことがある。佐賀県は文化財関連の部署を教育委員会から知事部局に移し、活用の観点からの取り組みに力を入れている。6月24、25日の2日間、一般向けの特別公開には県内外から計2600人が訪れ、「吉野ケ里ブランド」の存在感を改めて実感した。県は今後、発掘現場のライブ配信なども計画している。地元は久々に全国的なニュースとなり盛り上がりを見せた。科学的な調査と保護は大前提だが、新たな考古学ファンを「発掘」する取り組みも注視したい。

おた・こうじ ▼1999年入社 経済 有田支局 神埼市郡 佐賀市政農政などを経て 4月から現職

私が会った
あの人

齋藤勤さん 元内閣官房副長官

「永田町」に向かない政治家

五十嵐 泰（共同通信社）

大相撲千秋楽の表彰式で、大きく重さも40kg以上ある「内閣総理大臣杯」を一人で持ち上げ、国技館内を沸かせた。大柄だが眼差しは優しい。「気は優しく力持ち」を地でいくのが、30年以上取材をしてきた齋藤勤元内閣官房副長官だ。資質、実力は十分だったが、「永田町」には向いていない。そう感じる政治家だ。

気さくな人柄で誰にでも会い、話せば好かれ、信頼される。発想や政治姿勢は柔軟で、調整力は高く評価されてきた。ただ、国会議員の多くが重要視する「損得勘定」を好まなかった。

社会党の横浜市議として安定し、将来を嘱望されていた1995年、党の退潮ムードが隠せず、当選が見通せないため候補者を見つけれなかった党に要請され、参院神奈川選挙区に出馬した。

この時は最下位で何とか当選、

民主党に移り、活動も評価されて再選も果たした。党の参院副会長や総務局長なども歴任、いよいよこれからという2005年、今度は突然、参院議員を辞めて衆院選に出馬する。選挙区は神奈川11区、相手は小泉純一郎首相だった。

議員辞職し小泉首相に挑戦

11区に有力候補をと依頼されて探したが見つけれず、「小泉政権の安全保障政策は許しがたい。誰もいないのなら自分が出ようと決めた」。後に、そう明かされた。

「あなたは民主党参院の中心にな



(齋藤勤氏提供)

る人だ。将来は副議長にもなれる」。参院関係者はそう言って一斉に反対、党幹部も「出馬は頼んでいない。本当にいいのか？」と何度も確認したが気持ちは変わらなかった。こうしたケースならば検討される比例代表での救済措置も「全く考えなかった」という。

結果は惨敗、議員の職を失う。07年参院選には初めて比例代表で出馬したが、ここでも特別扱いはずれ、落選した。

09年の衆院選には、南関東ブロック比例下位で出馬した。事実上の人数合わせだったが、政権交代の勢いで当選した。党内には閣僚など重要ポストにとの声もあったが、要請された国対委員長代理、内閣官房副長官といった、要職だが黒子役でもあるポストで奔走した。

「議員としての活動に専念する」として、勧められた再選のための活動も一切していない。12年衆院選は、これまた党の要請で全く縁のない山梨1区から出馬し落選、政界から身を引いた。

平和にこだわり、政治塾設立

政界引退後は、名誉職や企業の顧

問などに就くケースが多いが、それもしていない。働きながら高校、大学に通っただけに、若者の教育には人一倍関心が強く、設立した政治塾「勤草塾」の運営を16年から本格化させた。母校神奈川大学の副理事長が、引き受けている数少ないポストの一つだ。

市議当時から「平和」と「地方分権」にこだわり、米軍基地問題にも熱心に取り組み運んできた。沖縄県にも頻繁に足を運んでいたが、長く親交のある玉城デニー知事の要請を受けて4月、沖縄県政策参与に就任した。今後は月に数回は沖縄に通うという。

「日本の政治、経済は危機的な状況だ。党がどうこうではない。日本を救い、再生する政治勢力づくりにも取り組みたい」。永田町には向かないが、こんな政治家が少しでも増えてほしい。そう感じる齋藤氏の活動は、これからも続く。

(いがらしやすし 1986年入社
政治部副部長 特別報道室長 編集局企画委員などを経て 現在 予定チーム長)

次号は鈴木達也さん(神奈川新聞社)にバトンが渡ります。

「怪物」江川、球宴降板の真相

「引退まで」の約束守る



みやうち まさひろ
宮内 正英

東京スポーツ新聞社を経て1988年 スポーツニッポン新聞社入社 東京本社運動部長 編集局長 取締役東京代表 常務取締役編集担当などを歴任 記者時代は巨人軍を中心に一貫してプロ野球取材 原辰徳結婚(86年) イチロー結婚(99年)などをスクープ 現在 同東京本社特別編集委員

1984(昭和59)年の2月、宮崎

は沸いていた。球団創設50年を迎えた巨人軍は、前年までの3年間、助監督を務めた王貞治さんが監督に就任。戦力的にも現役大リーガーのウオーレン・クロマティを獲得するなど話題には事欠かなかった。

◆藤田前監督と鍋を囲んで

詰めかけた報道陣の中に前監督の藤田元司さんの姿があった。監督1年目の81年にV9以来8年ぶりの日本一を奪回し、83年にもリーグ優勝を果たして勇退。NHKの解説者として取材に訪れていた。

「おい宮内君、江南荘においでよ。鍋をごちそうするから」

藤田さんに声をかけられた。

江南荘とは宮崎市大淀川沿いにある旅館で、巨人V9時代の宿舍だった。藤田さんは往時を懐かしみ、宮

崎の取材拠点にしていた。

訪れると監督とNHKの記者、アナウンサーが席に着いていた。私も加わり、話題は広岡達朗監督率いる西武ライオンズに敗れた前年の日本シリーズからV9時代へ。よもやま話は尽きず宴もたけなわのころ、藤田さんがこちらを向いて言った。

「宮内君ね、君はいつも好き勝手に与太記事(本当にこう言った!)を書いてるんだから、たまにはジヤイアンツのために外から見てもうしたらどうだ」という提案をしてくれないか。中身によっては私からオーナーに伝えるから」

ちよっと驚いたが、間髪入れずに切り返した。

「提言なんておこがましいことはありません。ただ、どうしてもおうかがいしたかったことがひとつあります。よろしいですか」

「ほう、なんだい?」

ひと呼吸置いて、言葉が続いた。

「2年前、監督が指揮を執った昭和57年のオールスターです。第1戦に先発した江川は球が走らず初回で降板しましたよね。あれって:」

藤田さんは首を振った。「あれかあ:わからない。わからないんだよ。今でも:」

◆球宴初回、18球で3失点

82年、藤田監督率いる巨人は開幕から首位を快走した。原動力は「怪物」と呼ばれたエースの江川卓だった。前年は20勝6敗で投手五冠(最

多勝、最優秀防御率、最多奪三振、最高勝率、最多完封)を達成。この年も前半戦を終えて13勝7敗と好調を維持してオールスターを迎えた。

7月24日の第1戦、舞台は後楽園球場。巨人の本拠地であることから

藤田監督は21日の広島戦で完投勝利をあげた江川を中2日で先発させた。

並みいるパ・リーグの強打者を相手に奪三振ショーが期待されたが、結果は18球で3失点。奪三振は全く最高球速は136kmにとどまり、初回で降板した。このためバの打者からは「真剣にやっついていなかったのでは?」との声が上がった。藤田監督は試合後「3回まで投げさせるつもりだったが:」と首をひねり、当の江川は苦笑しながら「すみません」と繰り返すばかり。オールスター後は6勝5敗、通算19勝12敗でシーズンを終えた。

《この年、巨人は中日と激しい優勝争いを繰り広げたが、首位で臨んだ最終戦(対大洋)に江川―西本の両エースをつぎ込むも敗れ、中日に逆転優勝を許した》



1981年5月10日の対大洋7回戦に中4日で先発。143球14奪三振で完投勝利を挙げた江川卓選手を迎える巨人の藤田元司監督(右/横浜スタジアム/スポーツニッポン新聞社提供)

◆ポツリ「CM撮影で肩を」

シーズンを終えたある日、江川と私は都内ホテルのラウンジで向かい合っていた。話がオールスターに及ぶと彼はポツリと言った。

「実はオールスター直前のコマースヤル撮りで肩を痛めたんだよ」
 『空白の一日』で入団した江川にはこの時もまだダーティーイメージがつきまとっていた。このため球団はイメージアップのためもありCM出演を算段、大手企業2社との契約が決まった。その撮影中に肩を痛めたという。

「監督は知っているの？」
 「いや…とにかくこの話は、僕が引退するまで書かないでほしい」
 この話が漏れれば、チーム内は大混乱に陥っていたことだろう。

「私が知る限りのことをお話しします。ただし、ここだけの話にしてください」と前置きして、江川から聞いた話を伝えた。

「こやかだった藤田さんの表情が一変した。「なぜ、すぐオレに言わなかった！ 知っていればあとの使い方が全然違っていったじゃないか！」

鬼の形相。拳が激しくテーブルを叩いた。

「でも監督に言ったら、球団に怒鳴り込んでいたでしょう？」

「当然だろ。俺の知らないところでコマースヤル撮りをして、肩を痛めたのだから」

自らも肩の酷使で短命に終わった藤田さんだ。球団とは当然、揉めに揉めただろう。しかしそれは江川が望む事態ではない。約束事でもあることから私は胸に秘め、藤田さんにも告げなかった。

しばしの沈黙。重苦しい雰囲気となったが、やがて藤田さんが口を開いた。
 「そうか…わかった。これでオレ

の大きな疑問がひとつ消えたよ」
 この日を境に私と藤田さんはそれまで以上に率直に、ざつとばらんに話すようになった。「もう監督と記者の関係に戻ることはない」という思いがあった。藤田さんも同じだったと思う。

「実は…」と前置きしてネタ元を明かしたことも何度かあった。藤田さんも「今だから言うけど」とチームの知られざる内情を教えてくれた。ところが88年秋。思ってもみなかったことが現実になる。藤田さんの監督復帰が決まった。

「しまった！」
 ホテルでの就任会見を終えて帰路につく藤田さんの助手席に滑り込んだ。「僕はいろいろ知りすぎちゃいましたかね」と頭をかくと、藤田さんも「まさかこうなるとは思わなかった。君には余計なことを言ったな。忘れてくれ」と苦笑いしていた。

◆引退報じられ、記事に

87年秋、江川の引退が報じられ、私はCMの一件を記事にした。引退会見でこのことを踏まえた質問が出たが、本人は「それを含めいろいろなことが蓄積しての結果です」と答えるにとどめていた。

全盛時のオープン戦で、試合中にブルペンからミットの音が聞こえて

きた。のぞいてみると江川が捕手を座らせて投げていた。

「お、宮ちゃん、宮ちゃん！ こっち来てよ。ちよつとバッターボックスに立ってくれる？」

「お？ おう」
 それが甘かった。振りかぶったと思うと、次の瞬間には何かが目の前を通り過ぎ、ズドンという大きな音がした。「球が浮きあがってくる」と形容された豪速球。素人相手のお遊びでも身の危険を感じた。

この豪速球が輝きを失いはじめ、のちに100球肩、手抜き投球といった批判を浴びることになる。そうした中、江川はさまざまな治療にトライしながら投げ続けた。その先に彼が描いていたのは、88年の東京ドーム開場。日本初のドーム式球場のこけら落としで先発のマウンドに立ち、記念すべき第一球を投じる自らの姿だった。

しかし、その舞台に立つことはなかった。新球場完成を目前にした87年オフ。後楽園球場の終焉とともに「昭和の怪物」は9年間のプロ野球生活を終えた。

あれから40年。あのアクシデントがなかったら…。江川卓は、巨人軍は、そしてプロ野球界は、どんな軌跡を描いたのだろうか。ふと思うことがある。

マイBOOK
マイPR

『教養としてのドラッカー 「知の巨人」の思索の軌跡』

小島 明 (日本経済新聞出身)

社会を鋭く観察 実像を紹介

「押しかけ弟子」を任じ、恩師に捧げた著作。彼が80歳の時、1989年に著した『新しい現実』はソ連の崩壊を洞察、崩壊後のソ連がヨーロッパに軍事進攻する可能性も否定できないと、ぞつとするような洞察力を示した。出版社がヘンリー・キッシンジャーに書評を頼んだがキッシンジャーは「友人が耄碌したと言いたくはない」として断つたという。ハウツウ的な経営の専門家ではなく、社会を鋭く観察し続けたドラッカーの実像を紹介。29歳の時に出版した『経済人』の終わり」は全体主義、ナチズムを分析、最近も増し刷りされた力作。骨太のリベラルアーツ。



東洋経済新報社 1,980円

『最高の一年 五十六歳で逝った妻は教えてくれた』

真田 正明 (朝日新聞出身)

がん標準治療を断り余命を全う

ステージIVBの子宮体がんだとわかったとき、妻はそれ以上の治療をしないことを決意した。そして豪州にいる娘の出産を手助けに行った。京都の友人や、和歌山県・龍神村にいる母とは、最期の別れを交わした。するべきことをし、言うべきことを言って、中秋の名月の日に旅立っていった。鎌倉に転居して1年間ほ



さくら舎 1,760円

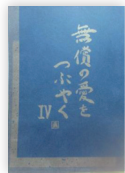
どのことだ。「いてほしいときに、あなたはいない」と言われ続けた夫が、四季の移ろいとともにもその日々を綴りました。

『無償の愛をつぶやくIV』

高尾 義彦 (毎日新聞出身)

ツイッターで俳句を発信

78歳の誕生日(6月19日)に合わせて自費出版。2014年、17年、20年に続き、3年ごとに1冊。この3年間に毎日、ツイッターでつぶやいた俳句はすべて収録、徳島新聞コラム「勁草を知る」、ハワイの日本語新聞「日刊サン」への寄稿や早稲田大学政治経済学術院 土屋礼子教授の「ジャーナリスト・メディア関係者個人史聞き取り調査プロジェクト」でまとめてもらったインタビューも収録した。3年後は80歳代の大台、「V」が発行できるかどうか。一応定価1,000円に設定、希望者にはお届けします。問い合わせは高尾まで(メール: yytakao@nifty.com)。



『椿飛ぶ天地』

滑志田 隆 (毎日新聞出身)

漱石の俳句巡る友情の軌跡

小説二篇。表題作「椿飛ぶ天地」は「俳句とは何か」を問いながら、椿の落花を集める男の物語。漱石の俳句「落ちざまに蛇を伏せたる椿かな」は実景を見た写生か、観念の産物なのか。弟子の寺田寅彦は椿を「飛行体」と考えて実験し、師の真意に迫る。その友情と洒脱の軌跡を追った結論は「俳句はアカルチュレーション(文化変容)なり」。「平壤号」は北京

「平壤の列車の旅を描く紀行小説。北朝鮮が国を挙げて取り組む植林運動の報告が興味深い。」



論創社 1,980円

会員の皆さんが出版された本をご紹介します。2000字程度で内容や狙いをおまとめください。お問い合わせは事務局の杉本(電話: 03-35503-2729、メール: sugimoto@jnpc.or.jp)までお願いします。

■ 会議報告

● 第444回会報委員会

(6・12 シルバールーム)

7月号の編集について協議した。

出席 榎原委員長、水野、大石、佐藤、萩原、勝田、本橋、稲澤、倉重の各委員。

● 第550回会員資格委員会

(6・14 小会議室)

7月1日付入退会を審議、理事会に答申した。

出席 前木委員長、竹川、宮東、今市、森安、古賀の各委員。

● 第540回企画委員会

(6・16 10階ホール&オンライン)

今後のゲスト候補について意見交換した。

出席 藤井委員長、黒沢、秋山、井田、佐藤、元村、橋本、猪熊、菅野、辻本、高橋、乾、佐々木、森田、杉田、川上、小林、中村、澤田(信)、山口、岡山、伊藤、竹田、出川、川戸、播摩、小栗、平井、野田、江川、倉澤、迫田の各委員。

第26期日本記者クラブ委員 (2023・2024年度) (◎印委員長 役職は7月1日現在)

総務委員会

- ◎角田 克 朝日新聞社専務取締役コンテツ・デジタル政策統括
前木理一郎 読売新聞社専務取締役編集局長
藤井 彰夫 日本経済新聞社専務執行役員論説委員長
榊原 智 産経新聞社論説委員長
瀬口 晴義 中日新聞社人事労務担当代理(東京駐在)兼東京本社総務局長
米田浩一郎 TBSテレビ報道局長
伊佐治 健 日本テレビ放送網執行役員報道局長(兼)解説委員会副委員長(兼)報道審査委員長
内藤 正彦 テレビ朝日取締役報道局長
小林 毅 フジテレビジョン専務取締役
林 恭一 日本新聞協会理事・事務局長
堀木 卓也 日本民間放送連盟専務理事
前田 浩智 理事長Ⅱ毎日新聞社主筆
沢井 俊光 副理事長Ⅱ共同通信社常務理事 DX・放送、国際、スポーツデータ担当
中嶋 太一 副理事長Ⅱ日本放送協会理事
江木 慎吾 日本記者クラブ専務理事兼事務局長

会員資格委員会

- ◎前木理一郎 読売新聞社
早田 邦穂 朝日新聞社ゼネラルマネジャー補佐
竹川 正記 毎日新聞社論説副委員長
村尾 新一 読売新聞社編集局次長

企画委員会

- ◎藤井 彰夫 日本経済新聞社
黒沢 大陸 朝日新聞社論説委員
秋山 訓子 朝日新聞社編集委員
井田香奈子 朝日新聞社論説委員
佐藤千矢子 毎日新聞社論説委員
元村有希子 毎日新聞社論説委員
澤田 克己 毎日新聞社特別編集委員
橋本 五郎 読売新聞社編集委員
猪熊 律子 読売新聞社調査研究本部主任研究員
大内 佐紀 読売新聞社上級論説委員兼編集委員
菅野 幹雄 日本経済新聞社東京本社編集総合解説センター編集委員兼論説委員
辻本 浩子 日本経済新聞社東京本社編集総合解説センター編集委員兼論説委員
高橋 哲史 日本経済新聞社東京本社編

集総合解説センター編集委員兼論説委員

- 乾 正人 産経新聞社特別記者(上席論説委員、コラムニスト)
佐々木美恵 産経新聞社東京編集局編集長
森田 景史 産経新聞社論説委員室委員兼運動部編集委員
杉田 弘毅 共同通信社特別編集委員兼論説委員
川上 高志 共同通信社特別編集委員
小林 伸年 時事通信社解説委員
中村 正子 時事通信社総合メディア局編集委員
澤田 信孝 北海道新聞社東京支社編集局長兼報道センター長
曾山 茂志 西日本新聞社執行役員東京支社長兼編集長
早川由紀美 中日新聞社東京本社編集局編集委員
山口 哲人 中日新聞社東京本社政治部(官邸サブキャップ)
岡山 俊明 日刊スポーツ新聞社コンテンツ本部長補佐兼特別編集委員室長
伊藤 雅之 日本放送協会解説委員室解説委員長
竹田 忠 日本放送協会解説委員室解説委員
出川 展恒 日本放送協会解説委員室解説主幹
川戸 恵子 TBSテレビシニアコメンテーター
播摩 卓士 TBSテレビ上席解説委員
小栗 泉 日本テレビ放送網報道局特別解説委員(兼)解説委員会委員長
名村 晃一 テレビ朝日報道局コメンテ

会報委員会

- ◎榊原 智 産経新聞社
志賀 英樹 朝日新聞社編集担当補佐
水野 雅央 共同通信社くらし報道部長
大石 卓見 秋田魁新報社東京支社編集部長
佐藤 庄太 福島民報社東京支社報道部編集主任
萩原 豊 TBSテレビ報道局報道番組センター長
勝田 洋人 日本新聞協会編集制作部長
本橋 春紀 日本民間放送連盟事務局長
稲澤 裕子 (読売新聞出身)
倉重 篤郎 (毎日新聞出身)
二村 伸 (NHK出身)

施設運営委員会

- ◎米田浩一郎 TBSテレビ
菅谷 一弘 読売新聞社ニュースセンター長
神辺 英明 山陽新聞社東京支社長
鈴木 大介 テレビ朝日報道局ニュースセンター長
辻 唯志 日本新聞協会総務部長
高木 強 日本プレスセンター常勤監査役
山本ヒロ子 エフシージー総合研究所特別顧問

1T編②

記者向けChatGPT講座

6・10 / 講師…川上貴之 時事通信社 デジタル編集部、宇佐美理 日本テレビサ イバーセキュリティ推進事務局(リ モート登壇)、鈴木誠之 静岡新聞社 社会部長兼論説委員兼編集委員 / 出 席…会場9人、ウェブ58人

ChatGPTで効率化

話題の対話型人工知能(AI)「ChatGPT」。質問の応答、文章の校正・要約、プログラミングのコード生成などができる。昨年11月に公開されてからわずか2カ月でアクティブユーザーが1億人を突破した。これはTikTok(9カ月)やInstagram(2・5年)よりもはるかに速い。

講義では実際にChatGPTにコードを書かせたり、日ごろの取材動線を作らせたりした例が紹介された。

何十行とあるコードをもの数秒で書いてくれるから驚きだ。その際、どのようなコードを書きたいかChatGPTに細かく条件を指示することが大切だという。

「これまで、動くものを作るためには修行しなければいけなかったが、プログラミングのハードルが劇的に下がった」と宇佐美さん。

(事務局)

土曜記者ゼミ

調査報道②

旧統一教会をどう取材したか

6・17 / 講師…矢野なつほ チュリーッ プテレビ報道制作局記者 / 出席…会場 7人、ウェブ29人

ローカル発、2日で800万PV

「旧統一教会の取材やろうよ」

昨年7月に起きた安倍晋三元首相銃撃事件から2日後、上司から言われたこの一言がきっかけで旧統一教会を巡る調査報道が始まった。

上司は30年前に旧統一教会を取材した経験があり、被害者支援団体の弁護士とのつながりもあった。つてをたどり、早速、富山県内の元信者を取材できることになった。

元信者の取材では、身ばれしないように矢野さんの洋服を相手に着てもらい撮影。人けのない場所でインタビューを行うなど注意を払った。

事件から3日後、全国に先駆けて元信者の声を報じたローカルニュースはTBSのオンラインサイトでも配信され、2日間で800万PVを記録した。「このとき初めて画面の向こうに人がいる」と反響を実感した

その後も、勧誘された大学生、旧統一教会と政界との関係などを取材しシリーズを展開。一連の調査報道はギャラクシー賞の報道活動部門で優秀賞を獲得した。

(事務局)



本号から、2度目の会報委員を拜命した。前回の任期は、読売新聞記者だった2017年まで。翌18年に昭和女子大学に転職し、日々、Z世代の若者と接している。

この間、新聞の総発行部数は17年4213万部から、22年3085万部へと、最盛期の読売新聞に等しい1000万部超が丸ごと失われた。NHK放送文化研究所によれば、「毎日のように利用するメディア」に新聞・テレビを挙げた割合は年齢と比例し、60代では約7割に対し、20代は約1割に過ぎない。

そんな中、新聞論の履修生は半数がなんらかの形で新聞を手に取り、5%が「ほぼ毎日」読み、新聞を定期購読している比率が6割に上る。履修した理由は、「新聞を普段読まないため、何がどこに書いてあるかを知りたい」「新聞の読み方のコツを知れば読む際にもっと楽しくなると思うから」「大学生活の早くから新聞を読む習慣をつけられ4年間を無

Z世代と新聞の出会い

駄にすることなく、多くの情報を役立てることができると思ったから」。

最初は「見出しに目を通す」読み方や、整理部の存在に驚く学生だが、スクラップを課すと――日本経済新聞の「きょうのことは」と1面の記事を毎日要約したり、ウクライナ情勢の変化を見事なレポートにまとめたり、社説をテーマに毎日、自分の意見をつづったり。全員とはいわないが、関心の広がり、情報処理や言葉の力を確実につけていく。

ハーバード大学のジャーナリズム研究所「ニーマン・ラボ」によれば、卒業シーズンのアメリカで、ミネソタ州のStar Tribune紙が州内の高校卒業生を対象にデジタル版を1年間無料で提供し始めた。Googleから転じたCEOが仕掛けた企画だ。若い世代と新聞の接点をいかにつくるか、世界共通の課題でもある。

会報委員会を通じてニュースの現場の声に接する機会に恵まれたことに感謝しつつ、学生と新聞の価値を改めて見直していきたい。

読売新聞出身 稲澤 裕子

レストラン*価格は全て税込みです

予約電話 和食 3503-2723 洋食 3503-2766・2731

和食 文月会席 (7/31まで)

前菜：もろこし豆腐、穴子寿司、炙り明太子など
お椀：蟹真薯かき玉 造り：旬の取り合わせ
焼物：鱧山椒焼き、おこわなど 揚げ物：海老アーモンド揚げ 強肴：鴨ロースと茄子煮びたしなど
食事：稲庭うどん 水菓子：時の物 (5,500円)
(板長：庄田賢)

洋食 季節のおすすめコース (7/31まで)

タコとトマトのマリネ サラダ仕立て、夏野菜の冷製ミネストローネ、牛フィレ肉のグリル グレービーソース、イチジクのメルバ、コーヒーまたは紅茶、パンまたはライス (4,400円)。ランチ、ディナーともに9階レストランでもご提供します。
(シェフ：佐藤和治)

8月はアラスカが半額に

会員限定で10階のレストラン・アラスカのディナータイムの一般メニューを全て半額で提供します。期間は8月1日から31日(土日祝日除く)。ご予約は03-3503-2766までお願いします。

お盆期間の開室時間 ウェブサイトで確認を

例年、お盆期間はクラブ施設と事務局の開室時間を短縮しています。この期間の開室時間が決まりましたらウェブサイトに掲載しますので、ご確認ください。

HP情報 <https://www.jnpc.or.jp/>

音声アーカイブ

●牛尾治朗さんの会見音声を公開しています

6月13日に92歳で死去した牛尾治朗さんは、経済同友会代表幹事として日本記者クラブで3回会見しています。このうち1998年6月の会見の音声を公開しています。改革派だった牛尾さんはこの会見で「グローバル化のすう勢のなかで日本は一国繁栄主義を脱すべきだ。国際社会の現実を出発点にモノを決めるやり方に切り替えるべきだ」と語りました。



●大場智満さんの会見動画があります

5月11日に94歳で死去した元大蔵省財務官の大場智満さんは、クラブで7回会見しています。このうち2015年9月にシリーズ企画「戦後70年 語る・問う」でプラザ合意から30年をテーマに話したときの会見の動画を公開しています。



クラブの電話 ダイヤルイン

- 和食レストラン(9階) ☎3503-2723
- 洋食レストラン(10階) ☎3503-2766
- 貸室予約・宴会打ち合わせ ☎3503-2724
- 受付 ☎3503-2721
- 会員事務 ☎3503-2727
- 経 理 ☎3503-2728
- クラブ行事への申し込み ☎3503-2722
- 会見申し込みアドレス kaiken@jnpc.or.jp

会員現況

- 法人会員：126社 ●基本会員：720人 ●個人会員：1,070人
- 法人・個人賛助会員：53社・117人 ●特別賛助会員：93人
- 名誉・功労会員：13人 ●学生会員：42人 計179社・2,055人

山形新聞社からさくらんぼ



今年も山形新聞社から、さくらんぼをいただきました。ラウンジで会員のみなさんに召しあがっていただき、「今年初めて食べた。甘くて美味しい」と大好評でした。

<法人会員代表変更>

- ・BSテレビ東京 加増良弘 代表取締役社長 (旧 新実傑氏)
- ・北海道放送 羽二生渉 東京支社長 (旧 神戸真氏)
- ・中国放送 伊藤誠治 執行役員報道制作局長 (旧 城雅治氏)
- ・RKB毎日放送 竹島史浩 執行役員東京支社長 (旧 梅畠貴史氏)
- ・CNN Stewart, Marc 東京支局代表、特派員 (旧 Ripley, Will)

米大学生がクラブを訪問

米ノーステキサス大学(州立)でジャーナリズムを専攻する16人の学生が、6月1日、クラブを訪問、施設を見学しました。意見交換の場で、日米の記者会見の違いについて聞かれ、①昔の記者は、記者会見では手の内を明かさず、取材は一对一でと教育された②日本の記者たちは記者会見全体の流れを読んで質問する傾向があった。これらのことから、日本の記者会見はおとなしい印象があったが、それも変わってきていると説明しました。(江木)

今後の行事予定(6/30現在)

14	13:30~14:30 「Jリーグ30年」10階ホール 川淵三郎 Jリーグ初代チェアマン
18	17:30~18:50 10階ホール 試写会「カメラを持った男たちー関東大震災を撮る」 16:00~17:15 9階会見場 著者と語る『闘う舞踊団』 金森穰さん 演出振付家、舞踊家
19	14:00~15:30 10階ホール 「関東大震災100年」⑥ 災害における流言と報道ー災害情報の課題を考える 中森広道 日本大学教授
26	13:30~15:00 10階ホール 「関東大震災100年」⑦ 大知久一 日本損害保険協会専務理事
28	13:30~15:00 10階ホール 「関東大震災100年」⑧ 山口芳裕 杏林大学医学部救急医学教室教授
31	13:30~14:30 10階ホール 鈴木直道 北海道知事 会見

会報委員会

- 委員長=榊原 智
委員=稲澤 裕子 大石 卓見 勝田 洋人
倉重 篤郎 佐藤 庄太 志賀 英樹
二村 伸 萩原 豊 水野 雅夫
本橋 春紀
(事務局：本庄五月 杉本翔一)
☎03-3503-2754 FAX 03-3503-7271

撮影：恵守 乾 (産経新聞大阪本社写真報道局)



出荷がピークを迎え、工房で涼やかな音色を響かせる風鈴＝5月9日、大阪府交野市

ああ、風が吹いている

なんて綺麗なんだろう。思わず見とれてしまった。赤、青、緑……透き通った涼し気なガラスの風鈴から、今にも、ちりん、ちりんという音が聞こえてきそうだ。

実はこの風鈴、「エコ」な製品だ。飲料水、化粧品などの空きビンをおろして溶かし、吹きガラスの風鈴に再生した。大阪府交野市の菅二彌さんの工房で作られており、「河内風鈴」の名で知られる。

風鈴の音を涼しく感じるのは、人間の脳の働きと関係しているという。風鈴の音がすると、脳は「ああ、風が吹いている」と反応し、それが涼しい感覚につながるのだそうだ。そよそよと吹く風の存在を伝え、涼しさを体感させる。小さな鈴の力にあらためて感じ入る。

ただ、気になることがある。昨今の気象は不安定で荒っぽい。強い風が吹き、台風も次々とやってくる。

しかも音への寛容さが薄れつつある時代だ。子どもの遊ぶ声に苦情が寄せられ、真偽のほどは定かではないものの、カエルの鳴き声に「うるさい」とクレームをつけたという話もネットを流れる。屋外に吊るされた風鈴は、「騒音」の代名詞にもなりかねない。

気象予報サイト「ウェザーニュース」の2019年の調査では、風鈴の音を涼しいと感じる人は、年代が上がるほど増える。10代では25%だが、50代や60代以上は45%にのぼった。若い世代も年を重ねると、もたらず涼しさがわかるようになるのか。それとも、急速にデジタル化が進み、スマホやSNSが脳に与える影響が心配される中、風鈴イコール涼しいという脳の働きも失われていくのか。

時代の変化とともに、小さな鈴が「風前の灯」にならないことを祈る。

(知野 恵子)